

PRESS RELEASE

2022年2月10日

各位

本店所在地 東京都千代田区麹町二丁目1番地
会社名 そせいグループ株式会社
(コード番号 4565 東証マザーズ)
代表者 代表執行役社長 CEO
田村真一
問い合わせ先 IR & コーポレートストラテジ一部
西下進一郎
電話番号 03-5210-3290 (代表)

2021年12月期(1月-12月) ビジネスハイライトおよび連結業績について

当社グループは本日、2021年12月期(1月-12月)における事業の概況および連結業績を発表しましたので、お知らせします。2021年12月期決算短信〔IFRS〕(連結)全文は[こちら](#)をご覧ください。

当社代表執行役社長 CEO である田村真一は次のように述べています。「2021年に我々は複数の成果を達成し、当社グループの世界をリードするGタンパク質共役受容体(GPCR)および構造ベース創薬(SBDD)に関する専門知識、独自の創薬および初期開発能力、そして提携実現のための強力な取り組みを実証するような大きな進展が見られました。特に、ムスカリン受容体作動薬ポートフォリオをニューロクライン社に短期間で再導出できたことは大きな成果となりました。本プログラムでマイルストーンが達成されれば、今後数年間で大きな収益をもたらす可能性があります。

2021年7月に実施した資金調達により、当社グループは豊富な資金を有する企業として2022年の活動を開始することができます。これにより、当社グループ独自および外部成長戦略を推進するとともに、当社の既存の専門知識を補完し、将来的に当社グループのプラットフォームからさらなる価値を生み出す革新的な取り組みを見出し、共同投資を行うために有利な状況にあります。さらに、先日発表した経営陣の交代は、世界中の人々の健康・生活の質を向上させるための医薬品を開発し、国際的なバイオ医薬品企業になるという目標に向けて進化するために、当社グループに新しい知見と推進力をもたらすことを目的としています。」

2021年12月31日以降のハイライト

- **当社グループの次のステージへの発展に向け経営陣の交代を内定** — 2022年3月24日開催予定の定時株主総会およびその後の取締役会を経て、正式に決定する予定：
 - クリス・カーギル氏を代表執行役社長 CEO 候補に選任
 - 田村真一氏は取締役として取締役会会長に専念
 - 関美和氏を社外取締役候補に選任

PRESS RELEASE

- マルコム・ウィアー氏、ティム・タスカー氏は執行役を退任し、当社顧問に就任予定
- その他、日本および英国における新執行役候補を選任
- **Verily 社との新規戦略的研究開発提携** – Verily 社の持つ免疫プロファイリング能力と、当社グループの持つ GPCR 構造ベース創薬技術を集約し、免疫疾患に対する新薬候補の創出を目指す

2021 年 12 月期第 4 四半期（10 月-12 月）ビジネスハイライト

- **ニューロクライン社と最大 26 億米ドルのマイルストーンを受領する権利を有する新規戦略的提携およびライセンス契約を締結** – 統合失調症およびその他の精神神経疾患を対象とした新規ムスカリン受容体作動薬の開発を目指す。2021 年 1 月に本プログラムのグローバルな研究開発権・販売権がアッヴィ社から当社グループに返還
- **新規抗体医薬品の創薬に向けたツイスト社との創薬共同研究** – GPCR ターゲットに対する新規抗体医薬品の創薬
- **SARS-CoV-2 Mpro 阻害剤プログラムを推進するため、世界有数の慈善財団であるウェルカム財団から助成金を受領** – 他の抗ウイルス剤との併用の必要がない COVID-19 に対する単剤での経口抗ウイルス薬の速やかな開発を目指す
- **導出済開発候補品の imaradenant (AZD4635) に関するアストラゼネカ社のパイプライン見直し** – 当社グループが創出したアデノシン A2a 拮抗薬の imaradenant が、提携先であるアストラゼネカ社の 2021 年第 3 四半期決算資料において臨床パイプラインから外れる。imaradenant の今後の開発計画について、当社グループが imaradenant のグローバルでの権利を再取得する可能性も含め協議中
- **GSK 社から 5 百万ポンドのマイルストーンを受領** – 2020 年に締結したグローバルの研究開発提携およびライセンス契約に基づき、消化器免疫疾患の治療薬候補である GPR35 受容体の経口低分子作動薬の開発進展によるもの

2021 年 12 月期（1 月-12 月）ビジネスハイライト

- **海外募集による 2026 年満期ユーロ円建転換社債の発行により 298 億円の資金調達を実施**。本海外募集による手取り金を以下の用途に充当する予定：
 - 2025 年満期の既発転換社債の買入資金（実施済）
 - 既存の資金に上乗せし、(1) 神経疾患や消化器疾患、免疫疾患、希少疾患などの領域における当社グループの創薬・初期開発に補完的な役割を果たす企業若しくは技術の獲得・投資、当社グループが有する既存の創薬・早期開発基盤の拡充に資する資産の獲得・投資、並びに、(2) 潜在的な国内市場向けの製品導入を中心とした戦略的成長投資
 - 新規パイプラインの研究開発および運転資金
- **提携プログラムに関するアップデート**
 - **ファイザー社との複数のターゲットを対象とした研究開発提携により見い出された 3 番目の新薬開発候補品の臨床試験が開始** – PF-07258669（拒食症における MC4 受容体拮

PRESS RELEASE

抗薬)を初めてヒトへ投与する臨床試験がファイザー社により開始され、この成果により、当社グループは5百万米ドルのマイルストーンを受領

- **バイオヘイブン社との提携が臨床試験段階に進捗** – バイオヘイブン社と提携中の新規低分子カルシトニン遺伝子関連ペプチド (CGRP) 受容体拮抗薬であり、CGRP が関与して発症する疾患を対象とした HTL0022562 (BHV3100) の第 I 相臨床試験において、最初の被験者への投与を実施
- **ジェネンテック社より合計 6 百万米ドルのマイルストーンを受領** – 2019 年の複数のターゲットを対象にした共同研究およびライセンスに関する提携により選定されたターゲットに対し、StaR[®]タンパク質を提供したことによるもの
- **スピンオフ企業の Orexia 社が新たに設立されたアセット特化型企业である Centessa Pharmaceuticals 社に統合** – 2021 年 6 月、Centessa 社の米国預託株式の新規株式公開が完了し、Nasdaq Global Market に上場され、これにより当社グループのバランスシート上のその他金融資産が増加
- **世界をリードする SBDD プラットフォームの活用範囲を拡大するため、以下の新たな戦略的技術提携を締結:**
 - **InveniAI 社との AI を活用した免疫疾患領域における創薬**
 - **PharmEnable 社との AI を活用したこれまで創薬困難だった GPCR に対する新薬の創出**
 - **Mettrion 社との GPCR 以外への SBDD 技術の応用による、神経疾患に関連する一つのイオンチャンネルに対する新規かつ特異性の高いリード化合物の特定**

2021 年 12 月期 (1 月-12 月) の業績ハイライト

- 売上収益は、前連結会計年度 (2020 年 1 月-12 月) 比 8,870 百万円増加し、17,712 百万円となった。これは主に、当連結会計年度に受領したニューロクライン社からの 100 百万ドルの契約一時金を含む 2 件の契約一時金が、前連結会計年度に受領した 4 件の契約一時金の合計を大幅に上回ったことによるもの。
- 研究開発費に係る現金支出は、前連結会計年度比 2,100 百万円増加し、5,511 百万円となった。これは主に、当連結会計年度において当社独自の開発プログラムの活動水準を高めたこと、新たな共同研究への支出およびポンド高の影響によるもの。
- 一般管理費に係る現金支出は、前連結会計年度比 523 百万円増加し、2,518 百万円となった。これは主に、成長戦略を引き続き評価するために人件費及び専門家に支払うアドバイザーフィーが増加したことによるもの。
- 現金利益¹は 8,904 百万円 (前連結会計年度は 2,904 百万円の利益) となった。
- 営業利益は前連結会計年度比 2,847 百万円増加し、3,775 百万円となった。これは主に、提携先が一部の導出候補品の臨床試験を行わないと決定したことに伴う非現金の減損損失を計上したものの、売上収益の増加によりこれを相殺したことによるもの。

¹ Non-IFRS measure

**PRESS RELEASE**

- 当期利益は前連結会計年度比 1,004 百万円減少し、475 百万円となった。これは主に、ニューロクライン社との取引に関連する条件付対価評価損を計上したことによるもの。
- 2021 年 12 月 31 日における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ 20,079 百万円増加し、60,087 百万円となった。

以上

Sosei Heptares について

当社グループは、G タンパク質共役受容体（GPCR）をターゲットとした独自の StaR[®]技術並びに構造ベース創薬（SBDD）技術から生み出される新薬候補物質の探索および初期開発にフォーカスした、国際的なバイオ医薬品企業グループです。当社グループは神経疾患、免疫疾患、消化器疾患、炎症性疾患など複数の疾患領域において、幅広いパイプラインの構築に取り組んでいます。

これまでアッヴィ社、アストラゼネカ社、バイオハイブン社、ジェネンテック社（ロシュ・グループ）、GSK 社、ニューロクライン社、ノバルティス社、ファイザー社、武田薬品工業株式会社などの大手グローバル製薬企業および新興バイオ医薬品企業と提携しています。当社グループは、東京に本社を置き、英国のケンブリッジに研究開発施設を有しています。

「Sosei Heptares」は、東京証券取引所に上場しているそせいグループ株式会社（証券コード 4565）のコーポレートブランドです。「そせい」、「Heptares」、当社グループのロゴおよび StaR[®]は、当社グループの商標または登録商標です。

詳しくは、ホームページ <https://soseiheptares.com/> をご覧ください。

LinkedIn: [@soseiheptaresco](#)

Twitter: [@soseiheptaresco](#)

YouTube: [@soseiheptaresco](#)